

2015年12月11日（金）

愛媛県連意見交換会

場所：ネストホテル松山

時間：17:00～18:00

出席者：

日本YEG 伴会長、武内英治代表理事

日本ネットワーク委員会 真木・赤田・田沢・中川・芦萱・森松・神林・篠田

愛媛県連：日野会長（松山） 井上会長（宇和島） 兵頭会長（八幡浜）
菊池会長（大洲） 森会長（伊予） 篠原会長（四国中央）
高尾会長（新居浜） 石川会長（西条） 森本会長（今治）

1. 伴会長挨拶

2. 事業・各種団体との連携について

松山・日野会長

8月松山祭り、親会の事業で親会・行政・単会から予算建てしている。

愛媛大学と連携し、YEG特別講座を設けて『働くこと』について講義しました。2年目の事業です。

宇和島・井上会長

30周年を迎えて、記念事業として『ガイナーめしグランプリ』を開催し、2万人を動員するイベントを開催した。市・県・親会・OBから予算建てしている。

その他にYEG農園として、4月に子供たちが植えて、秋に収穫する。味噌づくりなども体験するイベントを行っている。

『地にぎりグランプリ』は他の団体に引き継ぎしている。伊達と地にぎり合戦を行っている。

八幡浜・兵頭会長

八幡浜ちゃんぽんをソウルフードとして、振興条例を施行させていただいた。日本マニフェスト大賞2015にて、八幡浜ちゃんぽん事業が優秀政策提言賞を受賞した。

大洲・菊池会長

大洲の観光として鵜飼がある。伝統料理を作り、屋形船を美女だけ・お酒・婚活の舟など特徴を持たせた地域事業として取り組んでいる。

伊予・森会長

渉外活動は少なかった。愛媛県連を脱退するなどという事もありました。現在はお祭りだけのYEGだけでなく、県連内外との交流に力をいれている。宇和島YEGの周年にバスを手配して伺い、香川県連とも交流をしている。お祭りの収益を交流事業へ還元し、会員数を増やして現在は40名に達した。

四国中央・篠原会長

紙産業が盛んであり、紙まつりに、産業祭に出店している。イルミネーション事業として、インターチェンジから降りたところに飾っている。市の予算に基づいて実行委員会を組織している。

新居浜・高尾会長

6年前、新居浜マリパークにサマーフェスティバル『マリン村』を立ち上げる。単会持ち出し25万円の事業で、地元企業を巻き込みながらスタートした。市民一体化となる空間をイメージし、頑張っている企業のアピールや美味しい物産市、子供向けで親子のコミュニケーションなど輪を広げるイベントを行っている。今年の8月、参加者は6000名ほどに達し、市から40万円を予算化していただいております、30周年を迎え単会からは40万円を予算化して開催している。

西条・石川会長

産業文化フェスティバルに参加している。東予地域文化祭に参加し、町おこしに活動している。会員拡大としては、100名達成を宣言して、21名増員し現在は98名を数える。しかし、今年度10名卒業するので、110名に向けて活動している。

今治・森本会長

地場産業であるタオルデザイン展は20回目を迎える。タオルハンカチを身近で分かりやすく紹介し、好きなデザインをプリントできる。若手のデザイナーを育てていく機会としている。第18回目を数える商店街開催の商人（あきんど）まつりに合わせて、今治YEG水軍鍋1000食を無料配布した。

今年で第2回を迎える『ツール・ド・玉川』をお手伝いし、地方創生として行政との連携を図っている。市長とのランチを年6回交流の場を設け、サイクリストの街をめざして、市政へ提言している。

伴会長

婚活事業や街コンなどの事業は行っていますか。

各団体との連携について、4団体との連携があります。JAとの連携により、新しい産物を創っていかうというところもあります。

新居浜・高尾会長

新居浜は6団体・YEG・JC・建設業・機械産業・淡交会（茶道）・ベンチャークラブが集まって懇親を深めている。JCのイベントのブースに参加することがありました。

宇和島・井上会長

みかん・漁港。漁港との連携で海の清掃などを行っています。

八幡浜・兵頭会長

他団体を調べて交流会をしている。近隣市街の青年団体との交流もあります。八幡浜青年協議会という団体があります。YEG JC 農家の青年団体と交流。みかんの産業でつながっている。ブランド化や通販などの意見交換をしている。

伴会長

つながることで気付くこと、たりないことなどが分かります。

行政との関係についてはいかがでしょうか。

西条・石川会長

提言について、親会に承認いただいて進めています。

伴会長

親会との関係について、説明がありました。

親会の常任委員会への参加をはたらきかけていきます。

全国大会についてご意見がありましたらお願いします。

松山・日野会長

開催日について、(金)に前夜祭そして(土)に懇親会と分科会という場合があります。サラリーマンが多いため、参加しやすい日程を調整していただきたい。

伴会長

分科会登録について、キャンセル対応については宇都宮大会で毎日確認をしていた。95%

の参加状況であった。キャンセル待ちでもいいので登録いただきたい。

伴会長

例会出席率についてご意見いただきたい。

今治・森本会長

60%ぐらい。

伴会長

全国平均として60%程度である。

長崎県連の大村YEGは98%の出席率。千葉県連柏YEGは95%出席率を数える。

会員同士の声掛けが基本として、声掛けしやすい委員会の会員数にするなどの工夫がされている。

愛媛県連9単会で約900名、栃木県連は9単会で600名という状況である。会員数は、全国で33000名であり、毎年800名ほど純増している団体である。

全国の会費平均24000円である。

松山・日野会長

松山YEGは、42,000円。月3500円である。

伴会長

地域のお祭りなどで年間100万円以上を稼いでいるところがある。また指定管理業者になって、予算建てをしているという地域もある。研修や事業のみといった目的でひもつきの予算を行政からいただいているところもある。

宇和島・井上会長

『地にぎり』事業については、ふるさと納税340万円に各協賛で500万円を計上した事業を行った。また福島震災時に中学生に野球交流をする事業も補助金をいただいて行った。

3. 集合写真

4. 閉会